

くにみ 議会だより

KUNIMI

令和8年
(2026年)

No.212

3月議会号

議会だよりは
議会ホームページからも
ご覧になれます



「施政方針へ質問」

3人の議員が登壇!!



方針に対する質問

3人の議員が聞きました!!

自治体づくり

問 住民主体の信頼される自治体づくりについて、町民に対して満足度を上げてきたことと今後のやりたい事を伺う。

村上町長 町民と約束した5つの目標実現に注力し、社会福祉協議会、土木建築業組合、管工事組合と災害応援協定を締結した。1年目の「基礎づくり」をもとに、公約実現に向け、勇猛果敢に取り組んでいく。

問 町民の声を聴く町民説明会などを開催するべきではないか。

村上町長 広く町民の方々と行政が対等な立場で、知恵を出し合い、共に課題解決に取り組むための座談会を開催したい。

問 「住んでよかった選んでよかったと実感できるまちづくり」における多目的施設の整備について、今後どのように進めていくのか、また具体的にはどのような施設なのか伺う。

村上町長 多目的施設の整備としては、令和8年度に検討委員会を設置し、町民の意見を集約するなど整備に向けた議論を開始する予定としている。



渡辺勝弘 議員

地域医療



八巻喜治郎 議員

問 公立藤田総合病院などの看護師等の不足に対する改善は病院の管理者として、どうするのか伺う。

村上町長 地域の中学校病院として地域の方々の医療・保険・福祉の向上のため、構成市町と連携しながら、看護師の確保に努めていきたい。

問 地域医療の充実と専門性の高い看護師の育成のため、また国見町の活性化のために、公立藤田総合病院で研修や実習を行っている福島東陵高等学校看護科を公立藤田病院周辺に誘致することを要望する。

村上町長 福島東陵高等学校看護科の誘致は、若者が国見町に残るため、また、若者に国見町で暮らしてもらうための施策展開として有効である。しかしながら、高校の誘致には、相手がいるため時間を要するなど、直ちに

実現することは難しいものと認識している。



令和8年度 施政

多目的施設整備について

問

災害対策機能を併せ持った多目的施設の整備を検討する委員会の設置は、いつ頃になるのか伺う。

村上町長 検討委員会の設置時期については、夏頃を予定している。

くらいか伺う。

村上町長 設置規模が未定のため、総事業費をお示しできる段階ではない。

問

他の大型事業との優先順位はどのように整理しているのか伺う。

問 理念だけでなく、実現具体性が求められている多目的施設だが、現時点で想定している総事業費の規模はどの

村上町長 国見町の持続的発展に向けた規律ある財政運営を念頭に置きながら、大型公共事業の整備時期を分散させ、平準

化する必要がある。多目的施設については、選挙公約として打ち出しているのが、優先順位は上位になるが、実施時期については、認定ことも園整備に要する事業費が判明以降に町の財政状況を見ながら慎重に判断する。



小林聖治 議員

駅前ロータリー整備について

問

現時点で想定している概算総事業費の見込みはいくらか伺う。

村上町長 令和6年度に実施した基本設計業務において、大枠の事業費を2・7億円と見込んだところである。

問

総事業費の全体像を、どのように議会と共有し、管理するのか伺う。

村上町長 今後、実施設計を取りまとめながら、適切な時期に計画図や事業費について、議会に説明したい。

もくじ

- P2-3 3人の議員が聞きました!!
- 令和8年度 施政方針 に対する質問 -
- P4-5 議決の結果
- P6-7 当初予算質疑答弁
- P8 一般議案・補正予算の質疑
- P9-14 一般質問
- P15 議員活動報告書
みなさんからの
請願・陳情
- P16 一部事務組合報告
- P17 常任委員会Report
- P18 私たちの町内会

くにみ議会だより

発行／福島県国見町議会
〒969-1792
福島県伊達郡国見町大字藤田字一丁田二 1 番 7
TEL.024 (585) 3295 FAX.024 (585) 2181
<https://www.town.kunimi.fukushima.jp/site/gikai/>
編集／議会広報常任委員会
発行日／令和8年(2026年)4月24日
発行責任者／議長 山崎 健吉

議 決 の 結 果

議案番号	件 名	備 考	結 果
議案第4号	第6次国見町総合計画の改訂について	令和7年度に計画期間前半が終了するため、中間見直しを行い、計画を改定するもの。	原案可決
議案第5号	国見町過疎地域持続的発展計画の策定について	令和7年度に現在の計画が終了するため、新たな計画を改定するもの。	原案可決
議案第6号	国見町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	子ども・子育て支援法の改正に伴い、乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)の実施にあたり必要な設備、運営等にかかる基準を定めるもの。	原案可決
議案第7号	国見町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	子ども・子育て支援法の改正に伴い、乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)の運営について必要な基準を定めるもの。	原案可決
議案第8号	国見町上下水道事業経営審議会条例	下水道事業の企業会計適用に伴い、新たに上下水道事業一体の審議会を設置するもの。	原案可決
議案第9号	国見町行政手続条例の一部を改正する条例	行政手続法の改正に伴い、聴聞等の通知に係る公示送達の方法、引用条項を改正するもの。	原案可決
議案第10号	国見町個人情報保護法施行条例の一部を改正する条例	刑法の一部改正により、拘禁刑が創設されたことに伴い、文言の改正を行うもの。	原案可決
議案第11号	国見町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	県条例に準拠し、通勤手当の引上げ及び駐車場等に係る通勤手当の改正を行うもの。	原案可決
議案第12号	国見町消防団設置等に関する条例の一部を改正する条例	消防団員の減少に対応するため、消防団員に「機能別団員」を新たに追加するもの。	原案可決
議案第13号	国見町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	子ども・子育て支援法の改正により、国保税の算定において、子ども・子育て支援金を新たに追加し、税率等を定めるもの。	原案可決
議案第14号	国見町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	道路法施行令の一部改正に伴い、占用料の金額を改正するもの。	原案可決
議案第15号	国見町営住宅条例の一部を改正する条例	町営住宅の管理戸数の変更によるもの。 北古館団地 25戸⇒24戸	原案可決
議案第16号	町道路線の認定及び廃止について	道路法第8条第2項及び第10条第1項の規定により町道1路線を認定、2路線を廃止するもの。	原案可決
議案第17号	工事請負契約の変更について	町道4号線舗装改良工事 変更前：4950万円 変更後：5276万円 変更理由 舗装面積及び産廃処理量の増による工事費の増額	原案可決
議案第18号	工事請負契約の変更について	徳江大橋補修工事 変更前：1億1550万円 変更後：1億2361万円 変更理由 床版、橋脚クラック補修箇所による工事費の増額	原案可決
議案第19号	動産の取得について	消防小型動力ポンプ積載車 1台 取得金額：1184.7万円	原案可決
議案第20号	令和7年度国見町一般会計補正予算(第7号)	歳入歳出補正前 75億2590万円 歳入歳出補正後 74億5937万円	原案可決
議案第21号	令和7年度国見町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出補正前 1億8767万円 歳入歳出補正後 2億660万円	原案可決
議案第22号	令和7年度国見町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	歳入歳出補正前 10億120万円 歳入歳出補正後 9億7198万円	原案可決

議案番号	件名	備考	結果	
議案第23号	令和7年度国見町介護保険特別会計補正予算(第3号)	歳入歳出補正前 歳入歳出補正後	15億7222万円 15億7039万円	原案可決
議案第24号	令和7年度国見町湯水対策施設特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出補正前 歳入歳出補正後	1153万円 1285万円	原案可決
議案第25号	令和7年度国見町水道事業会計補正予算(第3号)	<ul style="list-style-type: none"> • 収益的収支 • 資本的収支 収入補正前 収入補正後 ※支出補正なし	補正なし 2522万円 2922万円	原案可決
議案第26号	令和8年度国見町一般会計予算	歳入歳出合計	66億5000万円	原案可決
議案第27号	令和8年度国見町大木戸財産区特別会計予算	歳入歳出合計	12万円	原案可決
議案第28号	令和8年度国見町入山財産区特別会計予算	歳入歳出合計	18万円	原案可決
議案第29号	令和8年度国見町石母田財産区特別会計予算	歳入歳出合計	51万円	原案可決
議案第30号	令和8年度国見町後期高齢者医療特別会計予算	歳入歳出合計	2億2878万円	原案可決
議案第31号	令和8年度国見町国民健康保険特別会計予算	歳入歳出合計	9億7083万円	原案可決
議案第32号	令和8年度国見町介護保険特別会計予算	歳入歳出合計	14億9363万円	原案可決
議案第33号	令和8年度国見町土地開発事業特別会計予算	歳入歳出合計	0.4万円	原案可決
議案第34号	令和8年度国見町湯水対策施設特別会計予算	歳入歳出合計	1195万円	原案可決
議案第35号	令和8年度国見町水道事業会計予算	<ul style="list-style-type: none"> • 収益的収支 • 資本的支出 収入 2億4585万円 収入 1400万円	支出 2億6089万円 支出 9374万円	原案可決
議案第36号	令和8年度国見町下水道事業会計予算	<ul style="list-style-type: none"> • 収益的収支 • 資本的支出 収入 2億607万円 収入 9535万円	支出 2億603万円 支出 1億4045万円	原案可決
同意第1号	国見町上下水道事業経営審議会条例	国見町石母田財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて (再任) 宍戸孝三 (新任) 佐々木一宏、堀 善郎、宍戸浩寿、菊地慎一、 菊地勝雄 令和8年3月31日任期満了のため		同意
発議第1号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書	請願第3号採択を受け、意見書を提出するもの。		原案可決
発議第2号	町長の専決処分についての一部改正について	専決処分事項として、解散等の事由による選挙費の補正を追加するもの。		原案可決

当初予算質疑答弁

問 小林聖治議員
今年度のように

な税収増について、町は今後どのように見込んでいるのか、もし見込んでいないとしたらどのような根拠を持っているのか。

安藤税務課長 人口減少の中、納税義務者が増加していることについては、今後も精査を続ける必要がある、中長期的には慎重な積算が必要になるだろうと考えている。

問 渡辺勝弘議員
来年度の予算

は依存財源が増加し、町債が9%となるが、地方債と過疎債により新規事業を行うにあたり、来年度の財政をどのように運営していくのか。

村上総務課長 財政的

には、町債や有利な起債を模索しつつ、国の補助等も総合的に取り入れ財政健全化を図る。

問 渡辺勝弘議員
歳出にあつて

は人件費が26%を占め、そこにかかる部分が相当あると考える。残業、超勤をどの様に考えていくのか。

村上総務課長 人件費の抑制は避けて通れない。今後の事業展開や事業規模等を総合的に勘案しながら検討していく。

問 松浦常雄議員
地域プロモーション

事業とはどのような事業か。
佐藤企画調整課長 国見町の魅力を町外に発信する事業で、今年度は、仙台圏と関東圏で

PRを展開していく。

問 穴戸武志議員
昨年度は国の

基幹系システムが導入された。今後もDX化が進むが同時に経費もかかる。

大勝ほけん課長 効率的な運用が一層求められる。効率的な運用を目指すために、コンサルタントの導入も一考である。

企画調整課長 あまり利用されていないシステムについては改善の見直しをする。県のアドバイザー等の助言をお願いしながら、職員も一緒にDXについて理解を深め、職員のスキルアップを進める。

問 渡辺勝弘議員
色々な場所を

見て様々な活動している地域おこし協力隊とのコラボも考えるべきではないか。

佐藤企画調整課長 地

域おこし協力隊の中にはまちづくりに興味があり、携わりたい方を含めて連携できる部分は多々あると思われる。



地域おこし協力隊

問 蒲倉 孝議員
工事請負費1

982万円は、中学校などのネットワーク強化事業工事「Wi-Fi」環境の通信強化のことか。

穴戸教育総務課長 ネットワーク強化事業における学校の無線LAN環境工事である。

問 渡辺勝弘議員
ももたん広場

の運営費の多くを占める人件費は、県からの補助金で賄って運営しているのか。

佐藤教育施設課長 子どもクラブ、ももたん広場とも国・県の補助金を活用し運営している。

問 渡辺勝弘議員
町内外からの

利用者が多いことは理解しているが、今後の維持管理について町の財源を負担しても継続する考えはあるか。

村上町長 子育て世帯の利用者が多く、交流人口の創出の重要性を鑑みて、現時点では、財源を確保しながら継続する。



くにももたん広場



問 大勝ほけん課長

療委託料143万円の内訳は何か。
大勝ほけん課長 3ヶ月分の事業構築費と運営を見込んでいます。

問 松浦常雄議員

大枝湛水防除施設は令和8年から6年をかけて大規模修繕するとしているが修繕の内容は。
大勝産業振興課長 現在4台の排水ポンプがあり、そのうち2台は40年以上経過しており、総入れ替え、もう2台は、30年以上経過しており、全面改修が必要である。また、防塵機も改修の必要があり、実質全面的な改修及び、新設という工事の内容である。

問 大勝ほけん課長

診療をいつから始めるのか伺う。
大勝ほけん課長 11月から1月までの期間で検討している。

問 大勝ほけん課長

どのような利用を想定しているのか伺う。
大勝ほけん課長 民間のオンライン診療サービス事業者に委託する。スマホ・パソコンを通じて医師の診察を受けられる。特に、夜間や休日における、初期相談・軽傷時を想定する。既存の地域医療を補完する仕組みとしての活用を想定している。

問 佐藤 孝議員

土地政策転換は時間がかかる。調整区域の開発は法的に限られ、農振農用地を議論対象外とし、いわゆる白地のみ議論が必要では。
大勝産業振興課長 農振農用地開発は想定していない。まずは市街化区域の活用を再検討する等、基本方針を整理したい。

問 佐藤 孝議員

町内会要望の道水路修繕事業決定マニュアルは策定したか。
中條建設課長 優先順位の客観性・公平性を担保できる簡便な方法を策定協議中である。

問 蒲倉 孝議員

検討委員の方々が決定した際は、議会と共有できるのか。
佐藤教育施設課長 委員の方が決定したら、報告する。

問 蒲倉 孝議員

計画策定業務委託に1000万円を計上しているが、委託業者が決定した際は同様に共有できるのか。
佐藤教育施設課長 教育・保育施設の、特殊な建物の知見を有する業者および団体の方の活用を検討しており、

決定したら報告する。

問 蒲倉 孝議員

委託料885万5000円、まちの駅とのつながりは？
佐藤企画調整課長 歴史的建造物町並み環境調査事業として、藤田宿地内にある歴史的建造物を活かした町中の賑わい創出事業を検討

問 大勝ほけん課長

幼児教育に係る人件費が毎年、増加傾向にあるが、今後の少子化と人件費について

している。

まちの駅整備と関連する部分があると思われるので、関係各課と連携をしっかりと取りながら進める。

問 大勝ほけん課長

人件費については、増加傾向にある。少子化の反面配慮・支援の必要な子どもも増加している。今後は必要な定数について検討していく。認定こども園への民間委託については令和8年度に検討委員会の中で議論していく。

問 佐藤 孝議員

体育施設再編は、観月台体育館跡地利用等とも連動している。検討の進捗と見通しは。
石幡教育長 スピード感を持ち、継続して関係団体や有識者との協議を重ね、教育委員会方向性を決めたい。



奥山家住宅

一般議案

【議案第4号】 第6次国見町総合計画の改定 について

問 佐藤 孝議員
進捗状況を審議する各年度の議論は、今回の改訂で設置した専門部会を開催したうえで審議会を開催してほしい。

佐藤企画調整課長 今後、審議会前に5つの専門部会を開催するよう前向きに検討する。

条例改正

【議案第12号】 国見町消防団設置等に関する 条例の一部を改正する条例

問 小林聖治議員
機能別消防団員の役割と位置づけはどのようになっているのか。

機能別消防団員に

問 小林聖治議員
機能別消防団員の担当、報酬はどの

については、火災及び災害対応でのみの活動で検討している。

ように規定されているのか。

榊住民防災課長 実働

【議案第20号】 令和7年度一般会計補正予算 (第7号)

問 渡辺勝弘議員
ふるさと納税業務委託金額が2064万円増とあるが、納税金額はいくらと見込んでいるのか。

村上総務課長 ふるさと納税は約6000万円を見込んでいます。

問 渡辺勝弘議員
ふるさと納税が増加となった要因はどのように捉えているのか。

村上総務課長 ももなどの農産物や根強いエアウィーブマットの人氣、あわせて昨年度のポイント制度の廃止による駆け込み的な需要があったと推測される。

に応じた費用弁償を支給し、報酬については予定していない。

5536万7千円が入ることとなったため。

【議案第25号】 令和7年度水道事業会計補正 予算(第3号)

要望 キャッシュフロー計算書や貸借対照表を提示いただいたが、健全経営なのかがわからない。財務分析も明記されて

いないため、収益性・安全性・効率性の分析比率を示し、経営状態が安全だということを示し伝えてほしい。

問 蒲倉 孝議員
農村総合整備事業(ため池・六角地区)実施計画策定の委託料2100万円は、なぜ当初予算計上ではなく補正予算の増額なのか。

中條建設課長 県からの補助金が決定したため補正予算を計上した。

問 蒲倉 孝議員
公立藤田病院負担金6536万7千円補正増の理由は。

村上総務課長 公立藤田病院組合議会にて協議の結果、各構成市町より1000万円の支援と、国からの補助金



町のふるさと納税返礼品の一部

まつうら
松浦 常雄 議員



詳しくはこちら
▲議会中継アーカイブ

町の農業の現状と課題の対策は

問 米やももなどの果樹の生産量はどのように推移しているのか。

大勝産業振興課長 過去3年間の生産量は気象の影響もあり、増減はあるものの、価格の面では高値が付き、売り上げが多くなったものもある。農家の努力で例年の水準は保たれている。

問 10年単位で見えた場合はどうか。

大勝産業振興課長 10年前と比べると、生産者は減少傾向にあり、生産量もやや減となっているが、ここ数年の生産量は、大きく変わらず、ももについては、売り上げが伸びている。

問 農業の従事者は減少しているのか。

大勝産業振興課長 10年単位で見ると減少傾向にあるが、ここ数年は横ばいである。

問 来年度の新規就農者の見込みは何人か。

大勝産業振興課長 3人程度である。

問 財政的な支援は、どのように行っているのか。

大勝産業振興課長 町では、新規就農者への財政的な支援として3年間にわたり資金補助を行うほか、農業経営開始時に資金提供を行う。また、5年間引き続き農業に従事した場合に返済を免除する経営開始資金の貸し付け制度などを実施している。また、新規就農者に限らず農業用機械購入の補助、防除費用や大型機械の免許取得の補助も実施している。

町の観光資源の開発、整備とPRは

問 阿津賀志山中腹の二重堀始点地区および国道4号北地区と国道4号南側の森山西国見地区の整備をどのように進めるのか。

佐藤企画調整課長 二重堀始点地区は、平成30年度に公有地化が完了し、支障木の伐採搬出を実施している。国道4号北側地区と合わせ草刈りなど適正な管理に努めていく。

また、森山西国見地区については、今年度実施した発掘調査の成果に基づき、史跡の追加指定と公有地化を進めていく。

問 町の観光周遊マップをどのように活用しているのか。

大勝産業振興課長 令和6年に観光ガイドブック「まつふる国見町」を作成した。このマップは、国見町の歴史、文化、食、特産品、店舗などを総合的に網羅し、町内の店舗、県内外の道の駅、移住定住相談窓口へ配布し、誘客の契機と情報発信に貢献している。視察や研修の受け入れの際にも利用している。

問 下二重堀地区の整備をどのように進めるのか。

佐藤企画調整課長 今後は、熱中症対策工事を予定している。さらに、駐車場とあつかし千年公園の接続をよくするための工事を検討していく。

問 町の観光スポットの多目的トイレは洋式であるが、女子トイレ、男子大使用トイレはすべて和式である。子供や若い世代の人々にとって甚だ利用しにくい。改修の計画は。

大勝産業振興課長 今後洋式に改修することを検討したい。



阿津賀志山防壁
(国道4号北地区)

高齢者福祉政策の内容と利用方法は



詳しくはこちら
▲議会中継アーカイブ



佐藤 定男 議員

国見町では「命を大切に誰もが幸せに暮らすまちくにみ」を基本理念に「第10次国見町高齢者福祉計画・第9期国見町介護保険事業計画」を策定している。これらの計画を基に各種サービスが切れ目なく提供されるよう「地域包括ケアシステム」の構築・深化に向けた取り組みが進められている。

また、地域包括支援センターはこの包括ケアシステムの中核をなす機関であり、町が社会福祉協議会に業務を委託し運営している。

問

地域包括ケアシステム及び地域包括ケアセンターの役割について伺う。

黒田福祉課長 地域包括ケアシステムとは高

齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう「医療介護、予防、生活支援」を一体的に提供する体制である。そのような生活を送るために地域住民の相談に乗るのが地域包括支援センターになる。

問

高齢者が生活上の問題を相談する時、最初に相談する部署はどこか。

黒田福祉課長 最初に相談する窓口は、地域包括支援センターや福祉課になる。

問

通いの場、いきいきサロン、認知症カフェ等、高齢者のための各種事業がある。これらの事業を町民にはどのように周知しているのか。

黒田福祉課長 いきいきサロンは広報にくみにみカレンダー、

認知症カフェは広報にくみにみ知らせ版やライオンにより町民に知らせている。

問

他にも高齢者が安心して日常生活を送るための様々な

一人暮らしの方への対応策は

諸事情で一人暮らしを余儀なくされている方がいる。これらの方々に対する支援策を伺う。

問

一人暮らしの高齢者の数を把握しているか。

黒田福祉課長 75歳以上の一人暮らしが427人、80歳以上の二人暮らしが120世帯で240人になる。

問

一人暮らしの高齢者の安否確認、緊急時の連絡方法はどうなっているか。



緊急通報システム

な事業が推進されている。周知徹底を図るべく一覧表にして各戸に配布していただきたいが所見を伺う。

黒田福祉課長 新年度事業分から前向きに検討させていただきたい。

問

緊急通報装置の貸与料金は月額1900円と聞いている。

町として全額もしくは一部を補助する考えはないか伺う。

黒田福祉課長 緊急通報装置は希望者に貸与している。月額使用料は3850円であるが現在、55人の方が自己負担なしで利用している。

住民税の所得割課税者である4人の方には1900円を自己負担していただいている。

職員採用に対する 町長の考えは



さいとう しげる
齋藤 樹 議員



詳しくはこちら
▲議会中継アーカイブ

問 町長は、会計年度任用職員を含めた職員採用についてどのような考えをお持ちかお聞きしたい。

村上町長 町内外問わず意欲と能力を持った人材、特に、専門的知識を持ち多様な経験を有する人材確保のため、柔軟かつ適切な採用を進め、住民福祉の向上に努めたい。

問 あと3年も過ぎれば、今の中学生が高校を卒業する。

中学生に、将来、町職員採用試験を受けてもらうような働きかけをしてはどうか。

村上町長 地元人材の採用について、中学生に町職員の仕事を理解してもらうことは必要だと考えている。方法については、検討したい。

問 令和5年、6年、7年の職員数について伺う。

村上総務課長 各年度4月1日時点で、令和5年度が正職員123人、会計年度任用職員119人の計242人。令和6年度は正職員123人、会計年度職員124人の計247人。令和7年度は、正職員が121人、会計年度任用職員が127人の合計248人となっている。

問 将来を見据え、少しずつ職員数を減らす考えはあるのかお聞きしたい。

村上町長 行政サービスの維持・向上と業務量の実態を踏まえ、職員の適正配置に努めることが重要である。一方で、災害時の対応、社会インフラの維持、住民サービス低下を招かないよう慎重に対応

すべきと考える。今後の町の状況を踏まえ、持続可能な行政運営に

町道4号線の ひび割れの原因は

問 町道4号線におけるアスファルトひび割れの原因と調査結果についてお聞きしたい。

中條建設課長 町道4号線の舗装改良工事は、令和5年度から着手し現在も継続中である。従前の表層と上層の一部を破砕し、セメントなどを混ぜ合わせ、新たな路盤を構築した上で表層を施工した。亀裂は、観音寺先の交差点の途中から県北浄化センター交差点付近までの約90メートルの範囲内において発生しているが、設計業者や施工業者へ確認したところ、設計や施工に問題はなかった。このため、当該箇所において地中調査を行い、3月中旬にその結果が出る予定であり、その結果を踏まえて対策を検討していく。



町道4号線のひび割れの調査

するようなものではないとの報告があった。これらのことから、下水道管渠と道路上の亀裂との関係は極めて低いと考えられる。

ろ、設計や施工に問題はなかった。このため、当該箇所において地中調査を行い、3月中旬にその結果が出る予定であり、その結果を踏まえて対策を検討していく。

水道課長 この下水道管渠は、県北流域下水道として県が管理している。県所有の台帳によると、ひび割れ箇所は地下は通っていない。また、ひび割れ箇所にも近いマンホール部分の管渠の埋設方向から、ひび割れ箇所直下に下水道管渠が通っていないことが確認できる。なお、県により管渠内部のテレビカメラ調査を行った結果、管内の腐食は確認できるが、管の構造に影響

わたなべ
かつひろ
渡辺 勝弘 議員詳しくはこちら
▲議会中継アーカイブ

山崎字南町田地内の 町有地の宅地開発は

問 住宅開発について、その後の検討状況及び事業の進捗状況は。

中條建設課長 子育て世帯を対象とした賃貸住宅を整備したいと考えている。山崎字南町田地内の町有地を考慮しており、民間企業と連携も視野に検討を進めるため、調査業務を行っている。

問 地域優良賃貸住宅とはどのような住宅なのか。

中條建設課長 従来の町営住宅と比較して収入の高い人でも入居できる住宅で、居住地の安定に配慮が必要な子育て世帯や高齢者など、入居対象者の要件を自治体の裁量で設定できる住宅となっている。

問 民間連携を検査業務を行っているため、調



再開発が期待される町有地

のことが、調査内容

はどのようなものか。
中條建設課長 1つ目は、候補地の選定であり、町有地に限らず、賃貸住宅に適する候補地を洗い出す。2つ目は、ニーズを把握するために若者や子育て世帯を対象のアンケート調査。3つ目は、町内外の建設業者への意向

調査を行い、これらの成果を基に公設公営型か官民連携型の賃貸住宅を決定していく。

問 山崎南町田地内の町有地を宅

地分譲する考えは。
中條建設課長 敷地の規模から宅地分譲ではなく、賃貸住宅を進めたいと考え、整備方

針や財源の検討をしてきた。

問 公営住宅と宅地分譲を併設する考えはないのか。

中條建設課長 山崎字南町田地内町有地の面積は1750㎡ほどで、離接地は民有地となっており、利用者の意向もあるため、併設は難しいと考える。

問 現在行っている調査業務完了後の事業スケジュールはどのようになっているのか。

中條建設課長 事業手法が決まっていなくて、スケジュールを示す事は難しいが、設計から建設、供用開始できるまで、4年から5年ほどを見込んでいます。

問 第6次国見町総合計画が改訂され、今後の土地の有

効活用について、町はどのように考えているのか。

村上町長 都市計画マスタープランの見直しに着手しながら、町民や商工業者、企業など、皆様のご意見をお伺いしながら、住生活基本計画の具体的な政策を検討したいと考えている。

問 賃貸住宅も必要と考えるが、

マイホームを建てたいが土地がなく町外に流失することを止めるべきと考える。宅地分譲も方策の一つではないか。

村上町長 具体的な住宅施策については、計画策定に合わせ、ご意見を伺いながら検討し、町有地の利活用や既存の町有地の条件等も含め、調査していきたい。

かばくら
たかし
蒲倉 孝 議員



詳しくはこちら
▲議会中継アーカイブ

「藤田駅前ロータリー」 「まちの駅」の進捗状況は

問 町長公約第2段「まちの駅」の進捗状況は。

大勝産業振興課長 空き店舗を活用し、交流の場を創出したいと考えており、検討委員会で検討していく。

問 第6次国見町総合計画、過疎地域持続的発展計画、空き家等対策協議会などの連携および協議について伺う。

佐藤企画調整課長 総合計画では、藤田地区の整備計画として記載し、事業推進を図っていく。

過疎地域持続的発展計画では、財源の一部に過疎対策事業債の借入を活用し、ソフトとハード2つの部分を掲載している。
中條建設課長 空き家等対策計画では、空き店舗などの利活用を検討することを明記し、



まちの駅「やながわ」

第3回の協議会で最終案を示し策定していく。

問 全国まちの駅協議会には、全国で1378か所、福島県で93か所、福島市で22か所、伊達市13か所が登録されている。

ネットワーケも充実

しており、行政、民間を問わない設置、運営形態であり、自由な工夫が許されているが、加盟の検討について伺う。

大勝産業振興課長 近隣で加盟している、まちの駅やながわの情報収集を行っており、加

入している。

盟については検討していく。

問 町長が描いている、まちの駅とはどのような「絵」か伺う。

村上町長 町内外の方々の、憩いの場として休憩施設のような機能を持った商店街を設けたいと考えている。

問 提案させていただきたい。まず1か所空き店舗を活用して立ち上げ、協会の登録を行う。その後、紐付け（追加登録）という方法もあると思うので検討していただきたい。

その上で、いつ頃までにまちの駅を作ろうと考えているのか伺う。
村上町長 全体のスケジュールについて、今後検討していく。



藤田駅前ロータリーイメージ図



※他に「藤田駅前ロータリー整備事業」についての質問は、右上の「二次元コード」からご覧下さい。

専門職の採用に 対する町の考えは



詳しくはこちら
▲議会議中継アーカイブ



佐藤 孝 議員
さとう たかし

問 退職等で新年度の保健師配置に支障はないか。

村上総務課長 保健師募集ができなかったため会計年度任用職員を配置したい。

問 私は職員採用計画期間を10年と考えるが。

村上総務課長 的確な退職予測が困難な状況であり、3〜5年と考えている。

問 ホームページ保健師の登録制度を導入できないか。

村上総務課長 5名の在宅保健師に業務支援をお願いしているが、他自治体の状況を調査したい。

問 町職員に1級施工管理士資格者は2名いるはずだ。専門職



専門的知識を持つ人材の確保を！

採用か。
村上総務課長 一般行政職採用後に自発的に資格を取得している。

問 昨年度の工事216件の設計は、この2名が担当なのか。

村上総務課長 大規模工事等を除き、工事は各担当職員が行っている。

問 専門職採用は昭和53年が最後のはずだ。現在の採用の方針は。

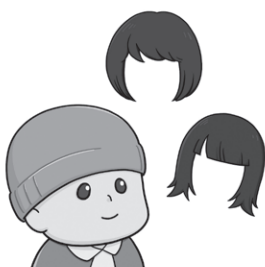
村上総務課長 現時点で採用方針はないが、インフラの老朽化や災害復旧対応、事業の適正な発注等が必要であり、ふくしま市町村支援機構を活用している。

問 一般職採用後の資格取得も現実的対応だが。村上町長 現時点でその方針はないが必要性は認識しており、類似団体の調査を行い協議を検討する。

アピアランスケアに 対する町の支援は

問 がん治療による脱毛や乳房切除など外見上の変化に伴う精神的経済苦痛を軽減するアピアランスケア支援制度の県内実情は。
大勝ほけん課長 県、白河市、西郷村、西会津町で導入している。にも公的支援は不十分だ。身体補整用具は極めて高額だ。この制度の必要性を感じないか。
村上町長 外見変化による身体的心理的負担を軽減し、安心して生活できるための支援制度であり、他自治体の事例を調査研究する。

問 県のウィッグと乳房補整具助成内容は。
大勝ほけん課長 ウィッグが2万円、乳房補整具が1万円である。
問 片目義眼等の身体の一部欠損



議員活動報告書

(令和7年12月2日以降)

12月2日 ～5日	令和7年第4回定例会12月会議	全議員
	議案調査会	全議員
	総務文教常任委員会	総務文教常任委員
12月12日	広報常任委員会	広報常任委員
12月13日	白藤会大忘年会	議長
12月14日	第26回国見町青少年健全育成推進町民大会	議長
12月16日	全員協議会	全議員
	議会モニター会議	全議員
	広報常任委員会	広報常任委員
12月17日	総務文教常任委員会	総務文教常任委員
12月21日	あつかし山ビッグツリー点灯式	全議員
12月22日	伊達地方消防組合議会全員協議会	組合議員
12月23日	伊達地方消防組合議会臨時会	組合議員
	伊達郡町村議会議長会(福島市)	正副議長
	伊達郡振興懇談会(福島市)	正副議長
12月24日	広報常任委員会	広報常任委員
	水企業団例月出納検査	議長
	例月出納検査	監査委員
12月25日	公立藤田病院組合議会全員協議会	組合議員
	公立藤田病院組合議会臨時会	組合議員
	伊達地方衛生処理組合議会全員協議会	組合議員
12月26日	伊達地方衛生処理組合議会臨時会	組合議員
	令和8年国見町消防団出初式	議長
	令和8年国見町新春賀詞交歓会	全議員
1月8日	広報常任委員会	広報常任委員
1月9日	交通三団体交通安全祈願祭	議長
	議会改革推進会議	全議員
	1月11日	はたちの成人のつどい
1月13日	令和7年民生委員・児童委員一斉改選に伴う退任委員感謝状贈呈式及び委嘱状伝達式	議長
	民生委員・児童委員一斉改選に伴う歓送迎会	議長

1月16日	令和8第1回臨時会1月会議	全議員
	議会運営委員会	議長ほか6名
	全員協議会	全議員
1月20日	国見町民生委員推薦会	議長
1月22日	議員懇談会	全議員
	全員協議会	全議員
	議会モニター委嘱式	正副議長
	総務文教常任委員会	総務文教常任委員
1月26日	産業建設常任委員会	産業建設常任委員
	例月出納検査	監査委員
	水企業団例月出納検査	議長
1月30日	商工会法施行65周年記念 永年勤続優良従業員表彰式・祝賀会	議長
2月12日	令和8年第2回臨時会2月会議	全議員
	議会運営委員会	議長ほか6名
	全員協議会	全議員
2月13日	議会改革推進会議	全議員
	福島地方水道用水供給企業団2月定例会議案説明	議長
	2月17日	全員協議会
2月19日	産業建設常任委員会	産業建設常任委員
	広報常任委員会視察研修	広報常任委員
	2月20日	全国町村議会議報クリニック
2月24日	議会運営委員会	議長ほか6名
	全員協議会	全議員
	議員懇談会	全議員
	広報常任委員会	広報常任委員
2月25日	例月出納検査	監査委員
	福島地方水道用水供給企業団2月定例会	議長
	福島地方水道用水供給企業団例月出納検査	議長
2月27日	国見町商工会青年部60周年記念式典および祝賀会	議長

みなさんからの
請願・陳情

請願
1件

陳情
1件

●請願第3号
福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願

提出者 日本労働組合総連合会 福島県連合会伊達地方連合会

議長 高橋誠一
結果 採択
(産業建設常任委員会にて審議) ↓意見書提出案可決
(議会・全会一致)

●陳情第9号
国に対し「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」提出についての陳情

提出者 福島県北高齢期運動連絡会
会長 齋藤和衛

結果 採択
(総務文教常任委員会にて審議)

※ 一部事務組合報告

※一部事務組合とは
複数の市町村が、事務の一部を共同で行うために設置する団体

伊達地方消防組合議会

12月22日、第5回議会臨時会が開催されました。

議案審議では、報告1件、条例改正1件、令和7年度一般会計補



正予算の計3件について審議され、いずれも原案のとおり可決されました。なお、議案の内容は以下のとおりです。

・専決処分の報告（損害賠償の額の決定及び和解について）

・伊達地方消防組合火災予防条例の一部を改正する条例

・令和7年度伊達地方消防組合一般会計補正予算（第2号）

（報告者 佐藤 孝）

公立藤田病院組合議会

12月25日、第3回議会臨時会が開催されました。

議案については、条例改正2件、令和7年度補正予算が審議され、いずれも原案のとおり可決されました。なお、



議案の内容は以下のとおりです。

・公立藤田病院組合の条例を左書きにする条例

・公立藤田病院職員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例

・令和7年度公立藤田総合病院事業会計補正予算（第1号）

（報告者 八巻喜治郎）

伊達地方衛生処理組合議会

令和7年12月26日、第7回議会臨時会が開催されました。

報告1件のほか、条例改正2件、令和7年度補正予算（一般会計、し尿処理会計、ごみ処理会計）の5件が審議され、いずれも原案のとおり可決されました。なお、議案の内容は以下のとおりです。

・専決処分の報告（損害賠償の額の決定について）

・伊達地方衛生処理組合職員の給与の一部を改正する条例

・伊達地方衛生処理組合会計年度任用職員の給与及び費用弁償の一部を改正する条例

・令和7年度伊達地方衛生処理組合一般会計補正予算（第3号）

・令和7年度伊達地方衛生処理組合し尿処理事業特別会計補正予算

（第2号）
・令和7年度伊達地方衛生処理組合ごみ処理事業特別会計補正予算（第3号）

（報告者 渡辺勝弘）



福島地方水道用水供給企業団議会

令和8年2月25日、企業団議会定例会が開催されました。

提出議案は、令和7年度補正予算、令和8年度予算の2件であり、いずれも原案のとおり可決されました。なお、議案の内容は以下のと

おりです。
・令和7年度福島地方水道用水供給企業団水道用水供給事業会計補正予算（第2号）

（報告者 山崎健吉）



総務文教常任委員会

■令和7年11月20日

○福祉課所管事務調査

令和7年度末をもって閉所することが決まった国見町デイサービスセンターについて、担当課（福祉課）より説明を受けた後、質疑応答を行いました。

■令和7年12月2日

○陳情第8号の審査

陳情1件について審査を行い、審議の結果〈採択〉と決しました。

▼陳情第8号 「物価上昇に見合う年金引き上げを求める意見書」の提出を求める陳情書

■令和7年12月17日

○福祉課所管事務調査

令和8年度に改定される高齢者福祉計画及び介護保険計画の素案について説明を受けた後、質疑応答を行いました。

■令和8年1月6日

○ほけん課所管事務調査

町の国民健康保険制度について説明を受けた後、質疑応答を行いました。

○福祉課所管事務調査

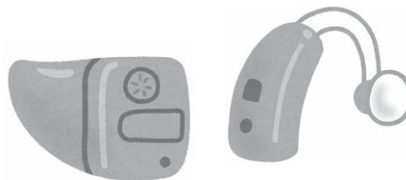
障害者福祉計画について説明を受けた後、質疑応答を行いました。

■令和8年3月2日

○陳情第9号の審査

陳情1件について審査を行い、審議の結果〈採択〉と決しました。

▼陳情第9号 補聴器の購入費助成を求める陳情書



産業建設常任委員会

■令和7年9月26日

10月7日に実施する上下水道課所管事務調査の内容および産業建設常任委員会行政調査の打ち合わせを行いました。

■令和7年10月7日

○上下水道課所管事務調査

現地調査

前回の打ち合わせにより、水源地の視察と町道4号線のひび割れの現地調査を行いました。また、町の上水道・下水道の現状について説明を受けた後、質疑応答を行いました。

■令和8年3月2日

○請願第3号の審査

請願1件について審査を行いました。審議の結果〈採択〉とし、意見書を提出することに決しました。

■令和8年3月25日

○産業建設常任委員会行政調査（三春町）

三春町における公共交通に関する施策や、地域移動支援事業、おでかけ応援隊、おでかけ支援隊事業について調査し、三春町の担当者との意見交換を行いました。



私たちの町内会

第5回 大木戸町内会

町内会役員を経て思う

一度限りの人生を楽しく生活しようと思っても語り合う町内会ですが、この頃は価値観の多様化やスマホの普及により対人関係が希薄になってきたように思います。それでも、人情味のある挨拶は気分を和ませます。思うようにいかない世の中ですが、会話の持つ意義は大きく、前向きな考え方を共有できる会話は、誰しも心が弾むと思います。町の人口が減少する中で、良好な人間関係を大切にしたいです。

町の活動も、もっと町民との会議や対話の機会を増やし、町民の意識向上や行



東京臨海広域防災公園にて

動力に効果があるよう、また議員の皆様にも住民の声にもっと耳を傾け、まちづくりの先頭に立ち、頑張っていただけのご期待申し上げます。

言うまでもなく、恵まれた我が郷土であります。一方、世の中には明るい兆しも感じられ、住民の知恵や力を活用し、これまで以上に官民一体で町の活性化が図られるようご期待申し上げます。



大木戸町内会長
松浦 万助さん

広報常任委員会活動報告

- 1.全国町村議会「議会広報クリニック」
- 2.神奈川県山北町議会行政視察

山北町報告

情報交換を行い、レイアウトやふりがな・注釈を入れるなどのアイデアを学んで来ました。

⇒毎回、新しいアイデアや広報誌編集の知識を習得させていただいております。
今後も、定期的に行政視察および研修会へ参加し、より良い「議会だより」をお届けいたします。

議会広報クリニックとは？



広報の専門家が議会広報を評価し、問題点や改善点を指摘します。クリニックを利用することで、議会広報の改善や広報力の向上を図ることができます。

いい広報誌作りに限界はない。デス



山北町役場議場にて

広報常任委員会

委員長	蒲倉 孝
副委員長	小林 聖治
委員	山崎 健吉
委員	渡辺 勝弘
委員	八巻喜治郎
委員	齋藤 樹

うららかな陽ざしが心うれしい今日この頃です。さて、広報常任委員会では、議会広報誌の編集のため、研修や行政視察などを行い、議会広報のあり方や編集のテクニックを学び、見やすく、読みやすい心がけております。よろしくお願いいたします。
(八巻喜治郎)

編集後記